



にしもり 西森 のぶお 信夫 議員

安心して
馬鈴しょ作りができる
環境づくりが大切

問 じゃがいもシストセンチュウ対策は

町長 洗浄土場設置、洗浄機購入を支援

発生場所の周知は

問 シストセンチュウ拡散を少なくし、注意喚起のための発生地、場所の周知は。

答 個人情報保護の観点から個人が特定できるような情報提供は実施しないが、発生地区数、発生圃場などについては、各関係諸団体、機関などにはJAを通じて注意喚起している。

機械利用組合

への対策は

問 土壌移動を防ぐ観点で農業機械利用組合に対する全町的な課題は。

答 農作業機などを共同で利用することはコス

価格補填策は

ト削減の観点から必要な取り組みと認識する。シストセンチュウまん延を防止の観点で自分以外の第三者が介在する点や共同で使用する面積の分だけリスクが大きくなるのが想定される。圃場間の移動の際に機械の洗浄を徹底するなどの土壌の移動を極力避けることが重要と考える。

問 男爵いもに替わる抵抗性品種の作付け、それに伴う所得補償対策についての考えは。

答 馬鈴しょは野菜の中でも品種で売り買いされ、男爵、メークインの二大品種を筆頭にさまざまな品種がある。相応の値段で取引されるようになるまでには一定の期間を要する。現在のところ作物自体に対する価格補填の考えはない。また、新たな品種の普及促進やプロモーション活動などに對する支援の要請があれば積極的に対応したい。



J A設置の洗浄施設

洗浄機設置

などの支援

問 シストセンチュウへのまん延防止策などの考えは。

答 現在9戸19筆の発生となっていて、いずれも既発生地区である2実践会にとどまっている。凍結によるサンプル採取ができていない圃場では、融雪後速やかに検診し、発生圃場を特定し、春耕期を迎



広大なじゃがいも畑

えたいと考えている。まん延防御策としては、洗浄土場の施工と洗浄機設置に対する支援を。発生圃場と未発生圃場との境界に畦畔や明渠施工を行う場合に支援を講じる。土壌の移動を防ぐことが最も効果的であるとされており、各対策を町内全ての生産者に発信・啓蒙していくことを検討している。



西森議員の一般質問を視聴できます